

社協だより

第 号
平成 年
月発行

えがおで介護
こころのネットワーク
あんしんサポート



【七夕の様子】



【敬老会の様子】



【クリスマス会の様子】



【元気教室の様子】

ふれあい活動センターの活動風景

☆内容

- ・生活支援体制整備事業について
- ・法人後見事業について
- ・ふれあい活動センターよりお知らせ
- ・大淀町元気な地域づくり推進協議会「げんきかふえ」営業日について
- ・ほうかつ通信
- ・認知症予防コーナー

発行所／社会福祉法人 大淀町社会福祉協議会

〒638-0821 大淀町下渕 1223 番地 TEL0747 - 52 - 1941

社協だよりは、共同募金の配分金により作成しております

ささ あい たす あい ♡ 支え愛・助け愛のある地域目指して♡



生活支援体制整備事業が始動！

地域の支え愛・助け愛を推進させていく「しくみづくり」の事業を進めています。

背景・課題

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症高齢者が増加すると見込まれ、調理や清掃、買い物などの支援を必要とする高齢者が増えています。こうした日常生活上の支援が必要な中、地域で生きがいを持ちながら、自分らしい生活をおこなうためには、地域に介護予防のサービスが提供されることが必要です。

課題に対する仕組み作り

介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしい人生を送ることができるよう、「住まい・医療・介護・介護予防・生活支援」が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」と呼ばれるしくみづくりが進められています。この事業は、ケアシステムの「介護予防・生活支援」を更に充実させていくために行うものです。

課題に対する取り組み

生活支援コーディネーターが、「協議体」のネットワークを生かしながら、地域の互助を高め、住民主体のサービスが活性化されるよう、地域全体で高齢者の生活を支える体制づくりを進めていきます。既にある互助を基本とした、助け合い活動など社会資源を共有し、将来に向けて「自分たちのまちをどのような地域にしたいか」などを話しあい、今やっていることや無理なく今できることを、その地域ならではの支え合いの仕組みづくりを生活支援コーディネーターが、住民と協働で地域の支援体制を作り出していく取り組みを進めていきます。

用語

・協議体：地域の社会資源の発掘や課題の発見と解決策の協議などを行いつつ、今やっていることや無理なく今できることなどをみんなで話し合い、地域の支えあい活動を発展・推進していく場です。
・生活支援コーディネーター：地域の社会資源の発掘や様々な人・専門職・団体等のつながりを深めるなど、地域の支えあいを進めるための調整役を担います。

支え愛・助け愛活動のサイクル

現状把握と課題整理

大淀町も高齢者が増えているね



ゴミ出しや布団干しなど支援が必要な人が多いみたい。

大淀町の高齢者の数、今ある活動、生活課題を把握します。



支え愛・助け愛活動



支えあいに協力してくれる人や団体を募集しよう。

活動の検討と啓発



ゴミ出し支援の仕組み作りを作ろう。

問題解決に向け支え愛活動が広がります。活動の中で、新たな課題に気づきます。

支え愛活動の活動内容を検討し、必要性を啓発します。

このようなこと、ありませんか？

自分に万が一の時、障がいを持つ子どものことが心配です。将来の財産管理や施設への入所手続きについて誰かに頼めないでしょうか。

必要な契約について、判断できずに困ってます。

成年後見制度の申立をしたいけど、手続きの仕方を教えてください。

認知症の父（母）が同じものや高額品を買ってきます。



法人後見事業とは？

認知症、知的障がい者、精神障がい者などの理由で判断能力の十分でない方が「契約」をしたり、「財産管理」をしたりすることが困難な場合に、本人に不利益が生じないように支援をする人を設ける制度です。福祉サービスの利用や入所・入院の契約、または不動産や預貯金などの財産管理を本人に代わって行ったり、補助することにより、本人の権利と暮らしを守ります。当会が法人として法人後見人となって支援をし、地域住民がいつまでも安心して暮らすことができるようにお手伝いします。



お気軽にお問合せください。【地域福祉係 0747-52-1941】

ふれあい活動センターよりお知らせ ※お気軽にお問合せください。【0747-54-5533】

デイサービスでは、送迎・健康チェック・体操・手芸・レクリエーション・カラオケ・入浴などがプログラムとなっています。また書道教室やパソコン教室を開催しています。



～ふれあい活動センターデイサービス開催日～

- 毎週 火～金曜日(祝日を除く)
- ～ふれあい活動センター各教室開催日～
- 毎週 月曜日(祝日を除く)開催
- パソコン教室・書道教室・元気教室

ご利用料金

- ◎デイサービス及び各教室：1回 1,000円
- ※元気教室は無料です。
- ※デイサービス利用者は各教室無料です。

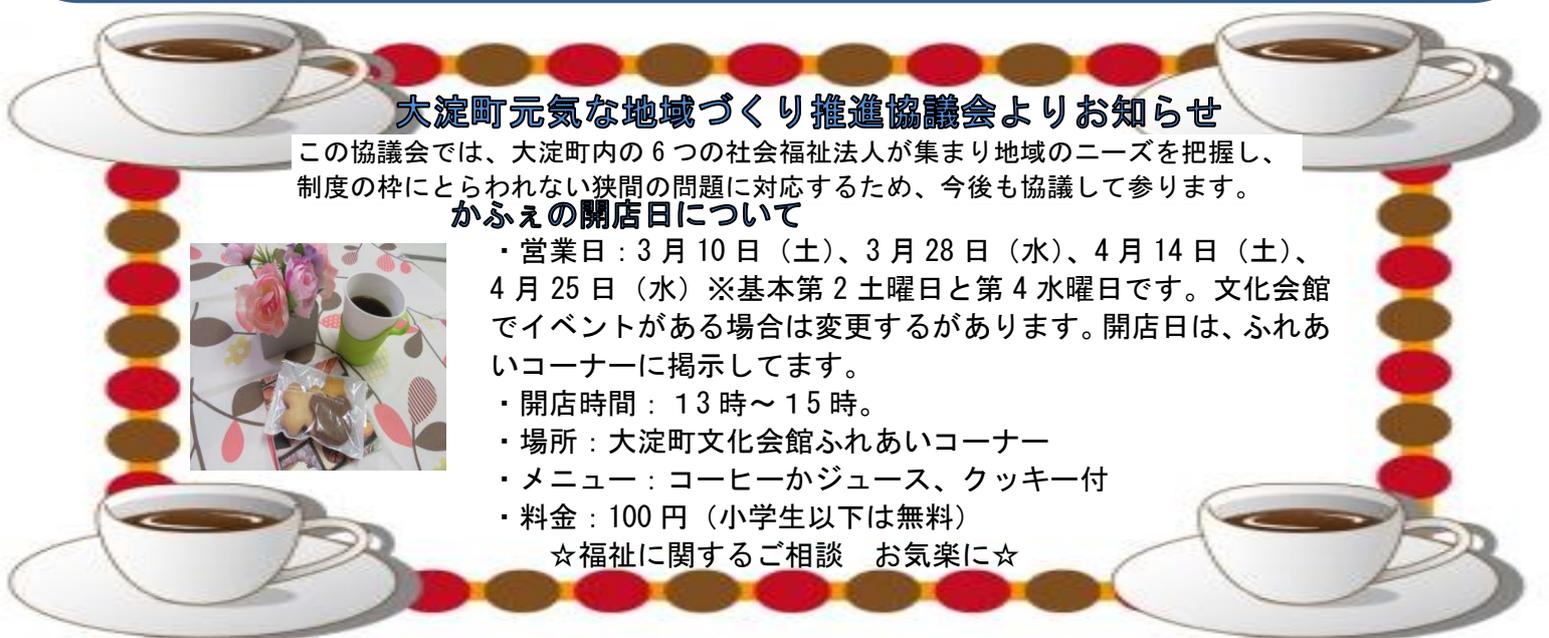
大淀町元気な地域づくり推進協議会よりお知らせ

この協議会では、大淀町内の6つの社会福祉法人が集まり地域のニーズを把握し、制度の枠にとらわれない狭間の問題に対応するため、今後も協議して参ります。

かふえの開店日について



- ・営業日：3月10日(土)、3月28日(水)、4月14日(土)、4月25日(水) ※基本第2土曜日と第4水曜日です。文化会館でイベントがある場合は変更するがあります。開店日は、ふれあいコーナーに掲示してます。
 - ・開店時間：13時～15時。
 - ・場所：大淀町文化会館ふれあいコーナー
 - ・メニュー：コーヒーかジュース、クッキー付
 - ・料金：100円(小学生以下は無料)
- ☆福祉に関するご相談 お気楽に☆



知っておきたい！物忘れと認知症の理解

皆さん、こんにちは。年齢を重ねると「もの忘れが多くなった」という人も増えます。老化による物忘れと認知症は同じ記憶の不具合に感じますが、両者の違いは何でしょうか？

老化による物忘れは物事の一部を忘れますが、ヒントにより思い出すことができます。これに対し、認知症は物事の全体を忘れてしまい、ヒントを出されたとしても思い出す事が出来ないのです。

●大切なこと
認知症という病気を正しく理解しましょう。早期発見し、適切な治療やサポートを行うことで進行を遅らせ、本人・家族の戸惑いや不安を軽減することに繋がります。

また、糖尿病などの「生活習慣病」が原因で認知症になりやすくなります。「バランスの摂れた食事」・「定期的な運動」・「人とふれあう機会」を持つことが予防になります。

●どこに相談すればいいの？
①かかりつけ医に相談

これまでの健康状態などを把握して、人々の健康を見守ってくれる人生のパートナーです。認知機能の低下が顕著に現れるようになったと相談すれば、かかりつけ医が過去から現在の健康状態を合わせて認知症専門医へ紹介もしてくれます。

②地域包括支援センターに相談

認知症が進行すると本人だけでなく、家族の介護負担も増えることが予想されます。介護サービスの調整を行い、認知症になったとしても住み慣れた地域で安心した生活が出来るようにご支援させていただきます。

また「出前講座」も行っていますので、是非ご相談下さい。

TEL 0747・52・7760

もの忘れと認知症の違い



経験した事が部分的に思い出せない	←→	経験した事が全体を忘れる
目の前の人の名前を思い出せない	←→	目の前の人や誰かわからない
何を食べたか思い出せない	←→	食べた事自体を忘れてる
物覚えが悪くなったような感じがする	←→	数分前の記憶が残らない

認知症

～日赤より車両が配備されました～

平成30年1月26日（金）小雪が舞う中、奈良県日本赤十字社奈良県支部で車両の貸与式がありました。新しい車両は軽ワゴンタイプで、災害時の救護、救援、活動資金の募集や広報、啓発、地域福祉の推進などを行う目的に使用します。
※県民の皆様から寄せられました会費及び寄付金をもとに配備されました。



認知症予防コーナー

認知症は、年々増加しています。85歳以上の方では、25%（4人に1人）の割合で症状が発症していると言われています。このコーナーでは、予防方法について解説していきます。

認知症の予防について今回は、認知症予防に良い食べ物について学びました。今回は、体を動かしながら脳を鍛えることができる、拮抗体操を紹介します。体の左右を同時に別々の動きをする体操で、認知症の予防に役立つ新しい運動法です。ぜひ参考にして、認知症の予防や改善にお役立てください。

上肢左右拮抗運動 A

- ①前がパー 胸がグー（10-20回）
- ②前がグー 胸がパー（10-20回）
- ③前がグー 胸がチョキ（10-20回）



広告掲載欄

あとがき

まだまだ寒い日もありますが、少しずつ春の訪れを感じられるようになってきました。

さて3月は、「学生」と呼びますが、語源は草木がだんだん芽吹く月という意味です。

寒さのあまり身体がかたくなり、縮こまっていたので肩や腰が痛く、春を待っていました。

徐々に運動しながら、動かして身体をほぐしていきましょう。